

eBASE株式会社

2010年3月期決算 とビジネス展開計画

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2010年5月20日

会社概要

- 会社名： eBASE株式会社 （証券コード：3835）
- 代表取締役： 常包浩司 （つねかね こうじ）
- 設 立： 2001年10月
- 資本金： 19,034万円
- 本社所在地：
〒531-0072 大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル（2F）
TEL：06-6486-3955（代表） FAX：06-6486-3956
- 理 念：
貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし
社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：
コンテンツマネジメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- 社員数： 61名（69名/役職員含む）

（2010年3月現在）

2010年3月期決算

(2009年4月～2010年3月)

■連結売上高の推移

■連結経常利益の推移

■連結業績の推移

■連結貸借対照表

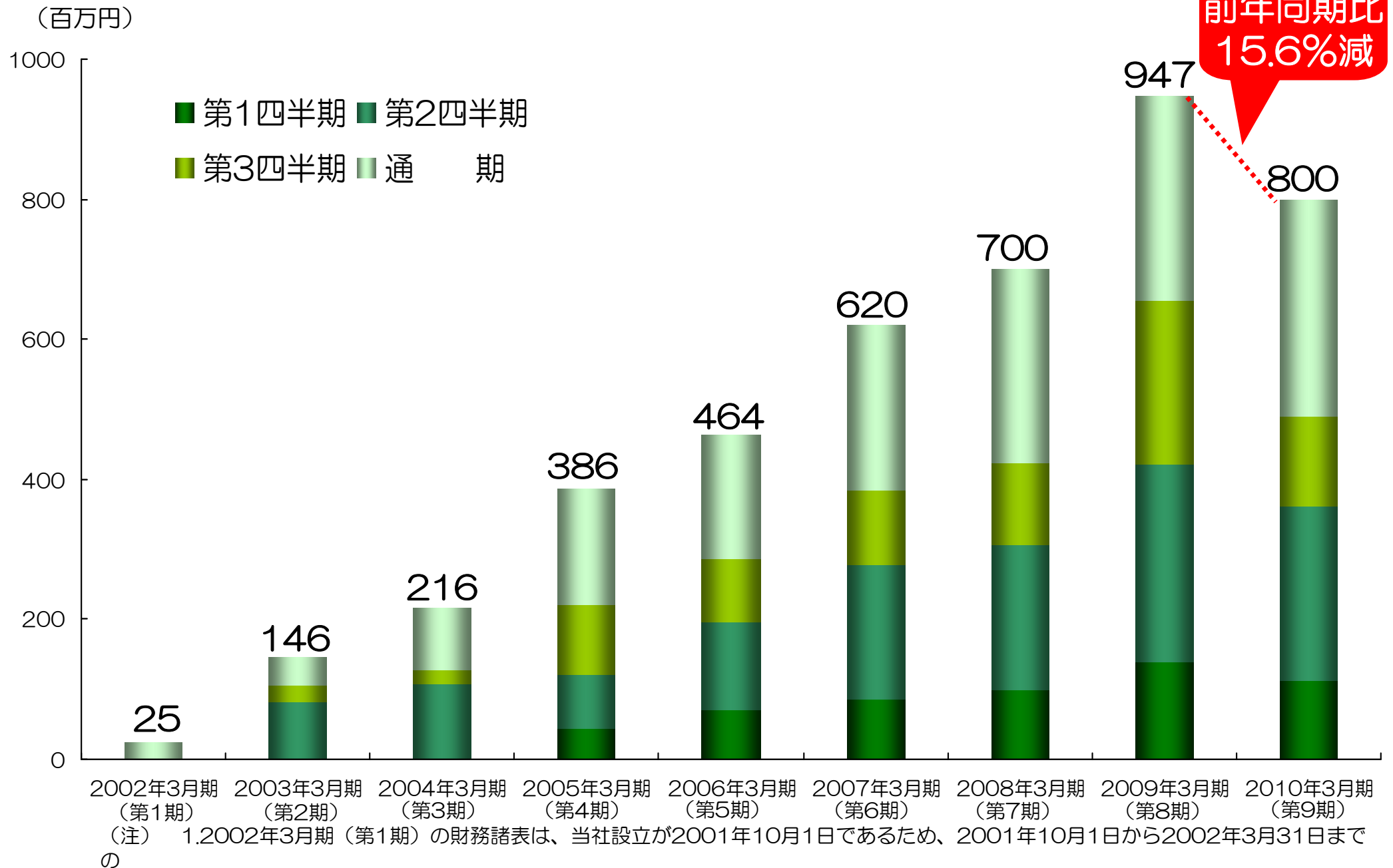
■種別販売実績の推移

■業界別売上実績の推移

■パートナ一別販売実績の推移

■2011年3月期の連結業績予想

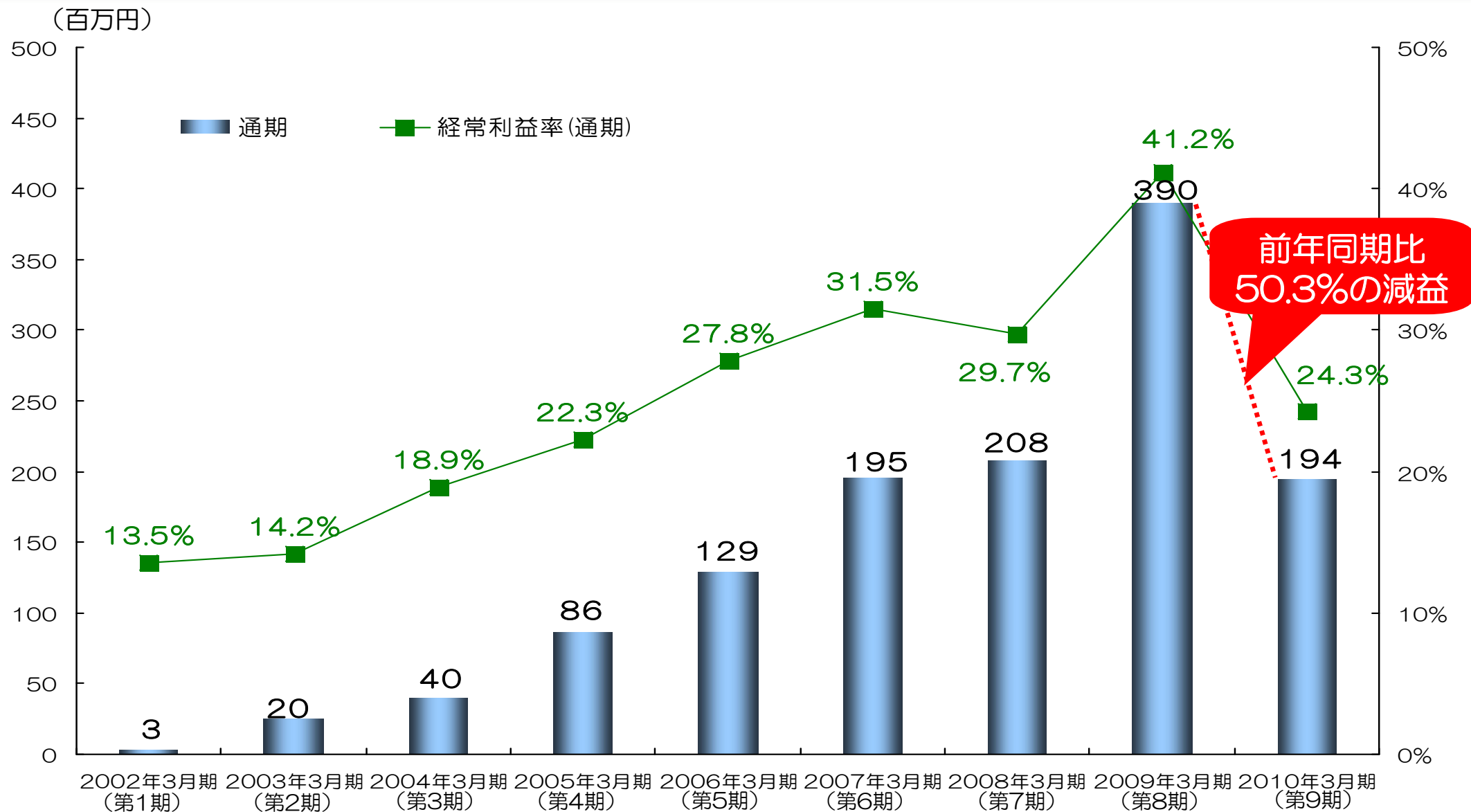
連結売上高の推移



6ヶ月間の金額となっています。

2. 2006年3月期 (第5期) より連結財務諸表を作成しているため、それ以前は個別財務諸表の金額となっています。

連結経常利益の推移



(注) 1.2002年3月期(第1期)の財務諸表は、当社設立が2001年10月1日であるため、2001年10月1日から2002年3月31日までの6ヶ月間の金額となっています。
 2.2006年3月期(第5期)より連結財務諸表を作成しているため、2005年3月期(第4期)以前は個別財務諸表の金額となっています。

連結業績推移

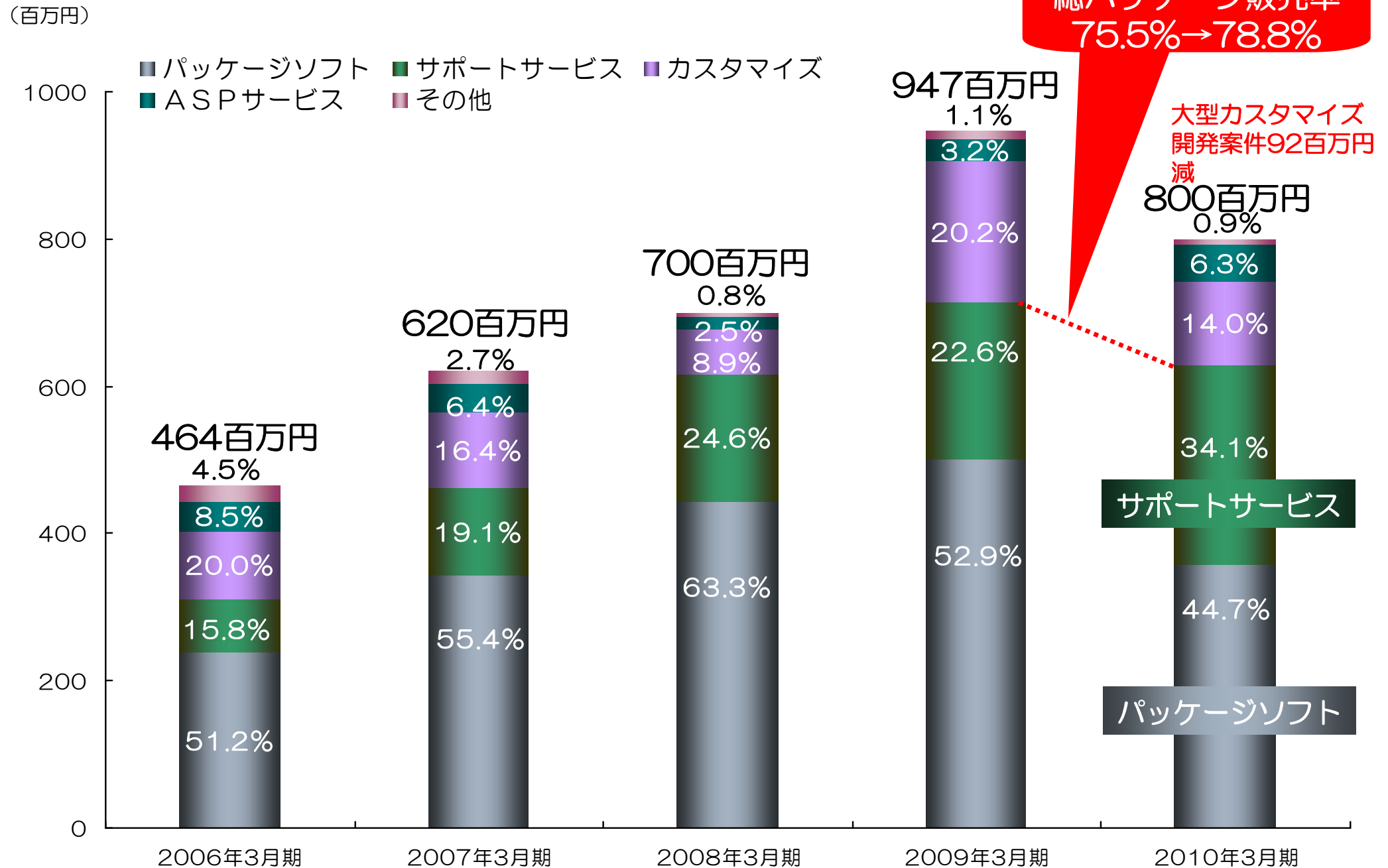
(単位：百万円)

	2006年3月期 (第5期)	2007年3月期 (第6期)	2008年3月期 (第7期)	2009年3月期 (第8期)	2010年3月期 (第9期)
売上高	464	620	700	947	800
営業利益	129	209	206	387	192
経常利益	129	195	208	390	194
当期純利益	83	113	118	219	125

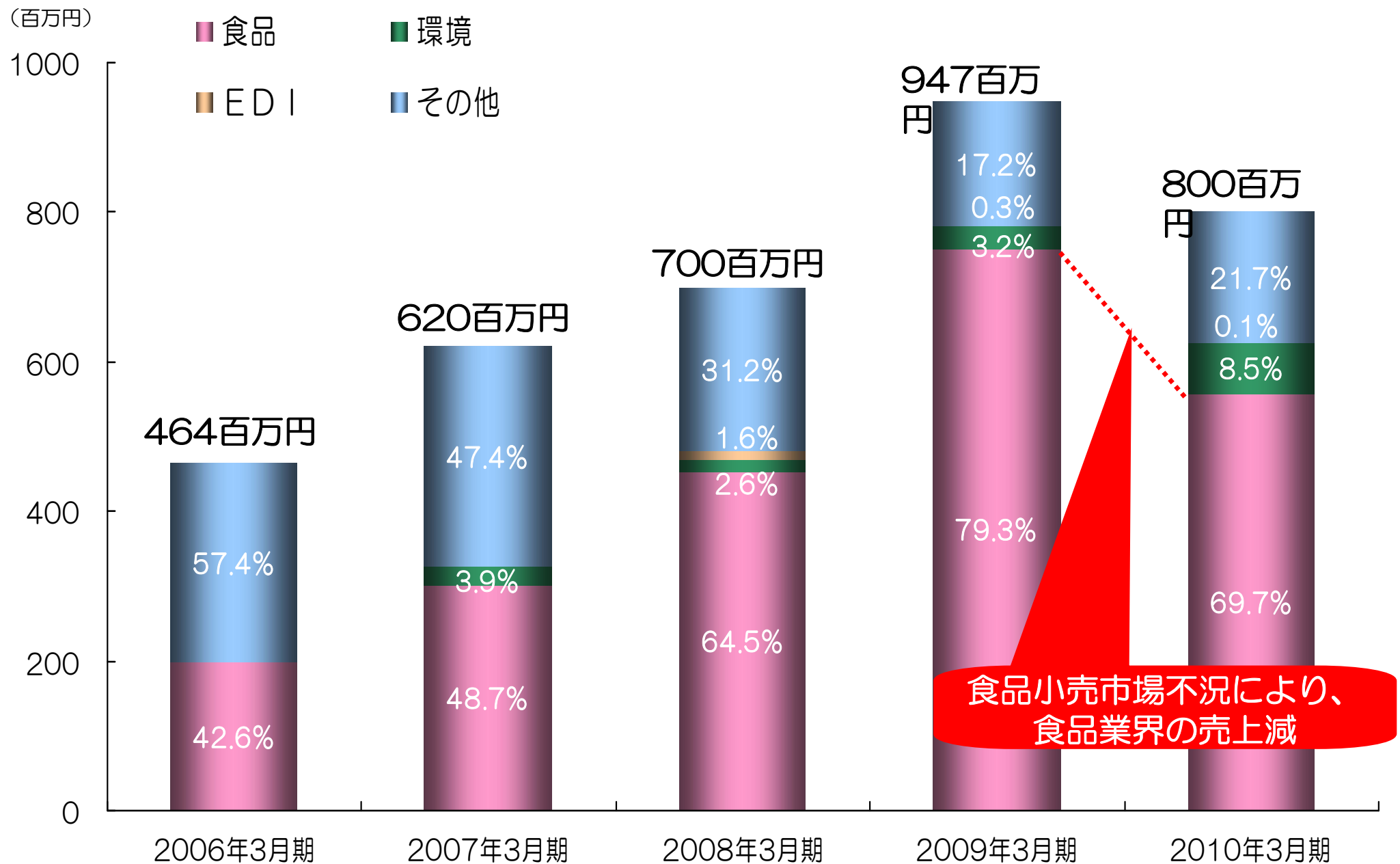
連結貸借対照表

	前期 (2009年3月末)	当期 (2010年3月末)	前期比	(単位：百万円)
流動資産	953	984	31	現金及び預金＋7百万 受取手形及び売掛金＋8百万円 その他＋16百万
固定資産	142	38	△104	
(有形+無形資産)	(16)	(13)	(△3)	
(その他)	(126)	(25)	(△101)	投資有価証券△100百万円
資産合計	1,095	1,022	△73	
流動負債	185	29	△156	利益減による未払法人税等△121百万円 売上減による未払消費税等△14百万円 買掛金△20百万円
負債合計	185	29	△156	
株主資本合計	908	990	82	利益剰余金の増加82百万円 (当期純利益＋125百万円) (新株の発行＋2百万円) (剰余金の配当支払△45百万円)
少数株主持分	2	3	1	
純資産合計	910	993	83	
負債・純資産合計	1,095	1,022	△73	

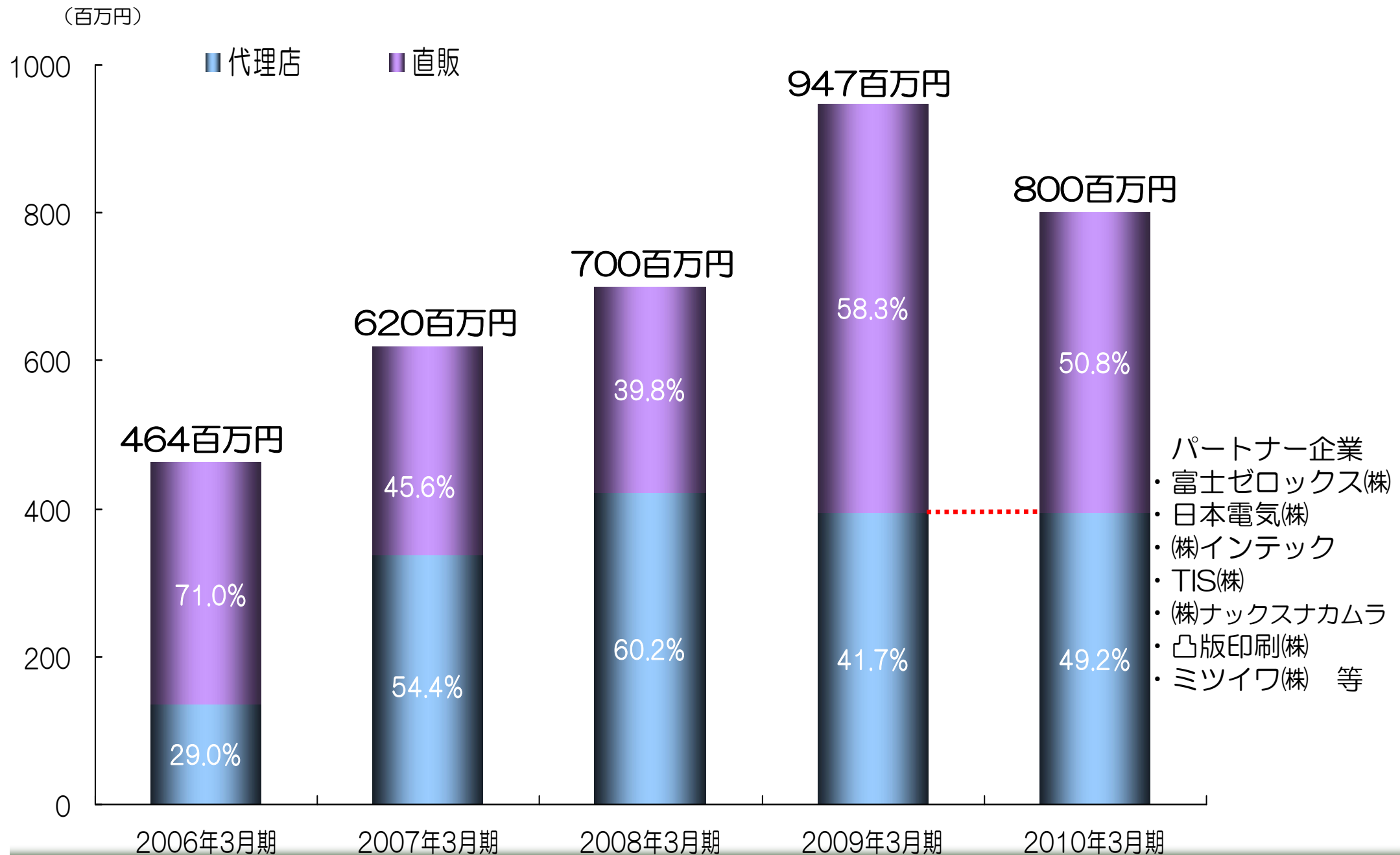
種類別販売実績の推移



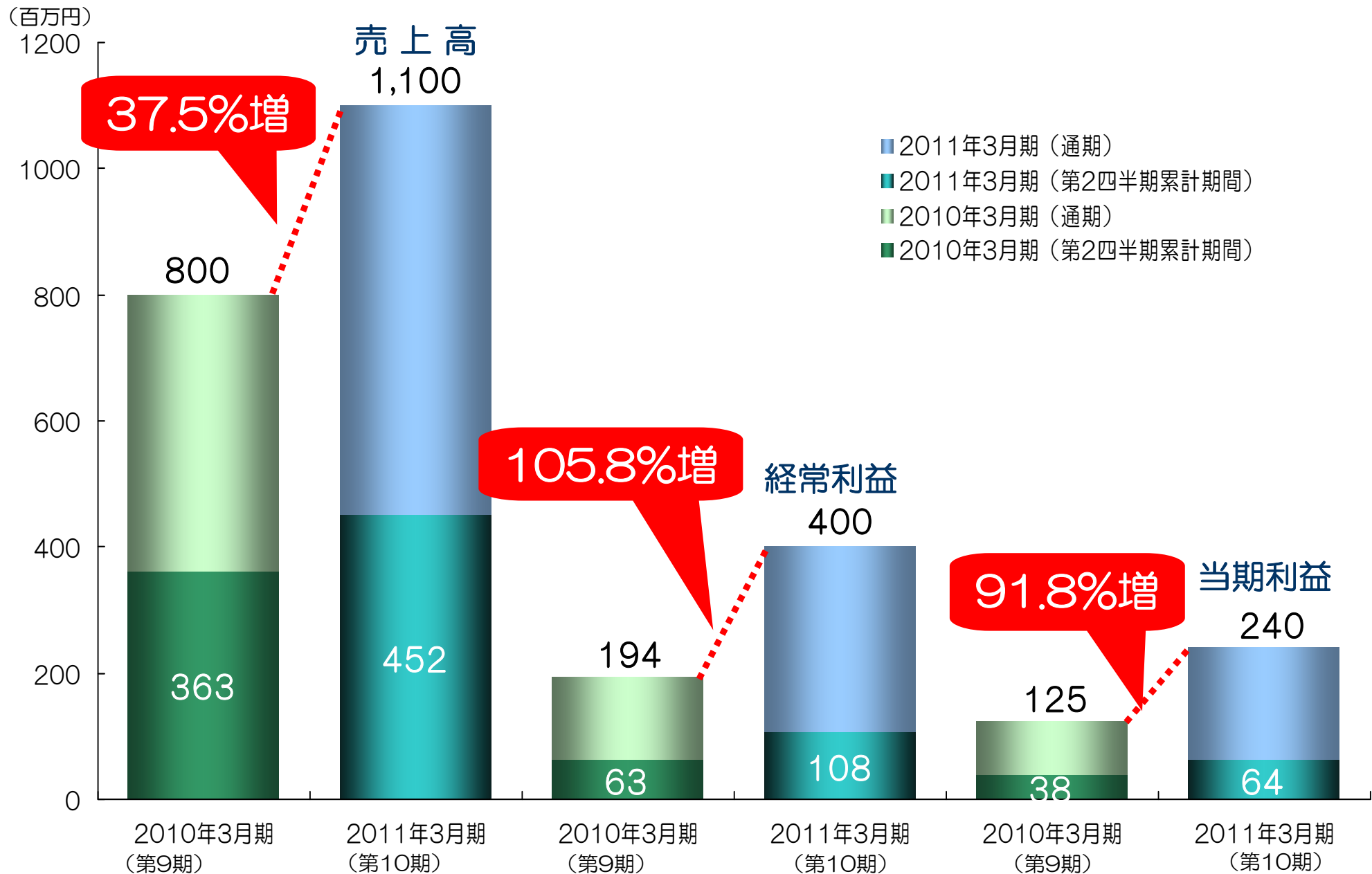
業界別売上実績の推移



パートナー別販売実績の推移



2011年3月期の連結業績予想



eBASEビジネス展開計画

～商品情報交換の全体最適化～

■ e B A S E の 基 本 機 能

■ eBASEの特徴とポジショニング

■ ターゲット市場の課題

■ e B A S E に よ る 課 題 解 決

■ eBASE全体最適化ビジネスモデル

■ 同 ビジネスモデルの展開

eBASEとは

様々な商品情報を管理・運用できるパッケージソフトウェアで、
食品業界、住宅業界、文具業界、等で広く使われています。

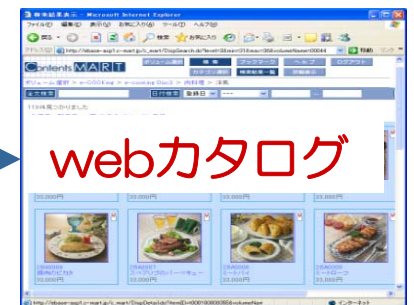
マルチメディアコンテンツ管理機能と
データ構造フレキシビリティが高いのが特

徴！

The screenshot shows the eBASE software interface with several key features highlighted by red boxes and arrows:

- 複数の素材データ** (Multiple Material Data): Points to the image management section on the left, which includes a preview of a '男爵コロッケ' (Baron Croquette) and options for file output and editing.
- 品番** (Product Number): Points to the '品番' (Product Number) field in the top right, which contains the value '1111111'.
- 複数の商品スペックデータ構造** (Multiple Product Specification Data Structure): Points to the '基本情報' (Basic Information) section, which lists various attributes like '仕様' (Specification), '登録' (Registration), '修正' (Correction), '通常' (Normal), 'JANコード' (JAN Code), '商品名' (Product Name), 'ブランド' (Brand), '規格' (Specification), '規格単位' (Specification Unit), '規格カナ' (Specification Kana), and '発注単位' (Order Unit).
- 商品画像 (印刷用、棚割用、web用、等)** (Product Image (Print, Shelf, Web, etc.)) and **PDF、Excel、動画、CAD、・etc**: Points to the bottom left section, which shows icons for different file formats and a list of image titles and comments.

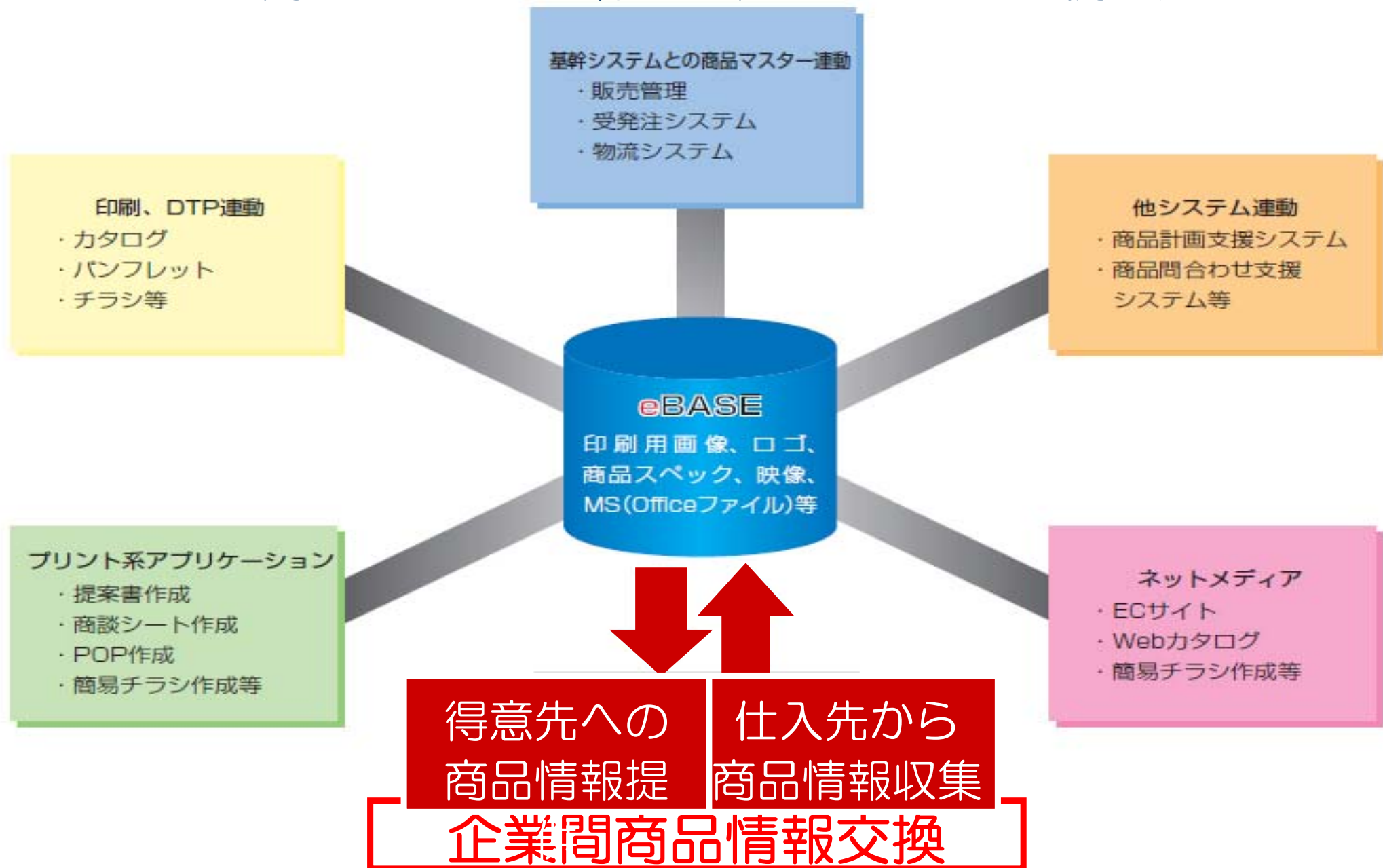
The interface also includes a top menu bar with options like '検索・出力' (Search/Output), '一括登録・削除' (Batch Registration/Deletion), 'カテゴリ編集' (Category Editing), 'ダウンロード取込' (Download Import), 'WEBサイトリンク' (Web Site Link), 'バージョンアップ' (Version Up), 'ボリューム変更' (Volume Change), and '終了' (End). A central table displays product details, and a QR code is visible at the bottom.



≒XML構造

eBASEの特徴とポジショニング

リッチ商品マスターを様々な他システムと連携運用！



商品情報交換の現状

サプライヤ/バイヤ間の商品情報交換は、非効率的！

サプライヤー企業

バイヤー企業

バイヤ毎に、異なるフォーム、異なる手段で、情報提供！

アナログ的情報収集



A社フォーム

品名	単位	数量	価格	備考
りんご	kg	100	1000	
バナナ	kg	50	500	
オレンジ	kg	200	2000	
梨	kg	150	1500	
葡萄	kg	80	800	
イチゴ	kg	30	300	
桃	kg	120	1200	
柿	kg	60	600	
柚子	kg	40	400	
梅	kg	20	200	
桜	kg	10	100	
その他				

FAX送信



B社フォーム

品名	単位	数量	価格	備考
りんご	kg	100	1000	
バナナ	kg	50	500	
オレンジ	kg	200	2000	
梨	kg	150	1500	
葡萄	kg	80	800	
イチゴ	kg	30	300	
桃	kg	120	1200	
柿	kg	60	600	
柚子	kg	40	400	
梅	kg	20	200	
桜	kg	10	100	
その他				

Eメール



C社フォーム

品名	単位	数量	価格	備考
りんご	kg	100	1000	
バナナ	kg	50	500	
オレンジ	kg	200	2000	
梨	kg	150	1500	
葡萄	kg	80	800	
イチゴ	kg	30	300	
桃	kg	120	1200	
柿	kg	60	600	
柚子	kg	40	400	
梅	kg	20	200	
桜	kg	10	100	
その他				

WEB入力



A社

B社

C社

収集課題
・間違い多数
・遅い
・探せない
・再利用困難

eBASEによる商品情報交換

サプライヤ/バイヤ間の商品情報交換の効率化！

サプライヤー企業

バイヤー企業

商品情報提供の標準化

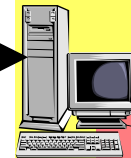


アナログ的情報収集にも対応

商品情報をデジタルで収集！



A社/eBASE

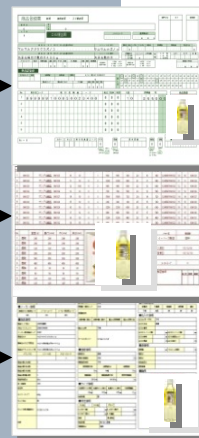


B社/eBASE



C社/eBASE

高精度な情報が、
タイムリーに、
低コストで収集！
その利用も容易！



D社

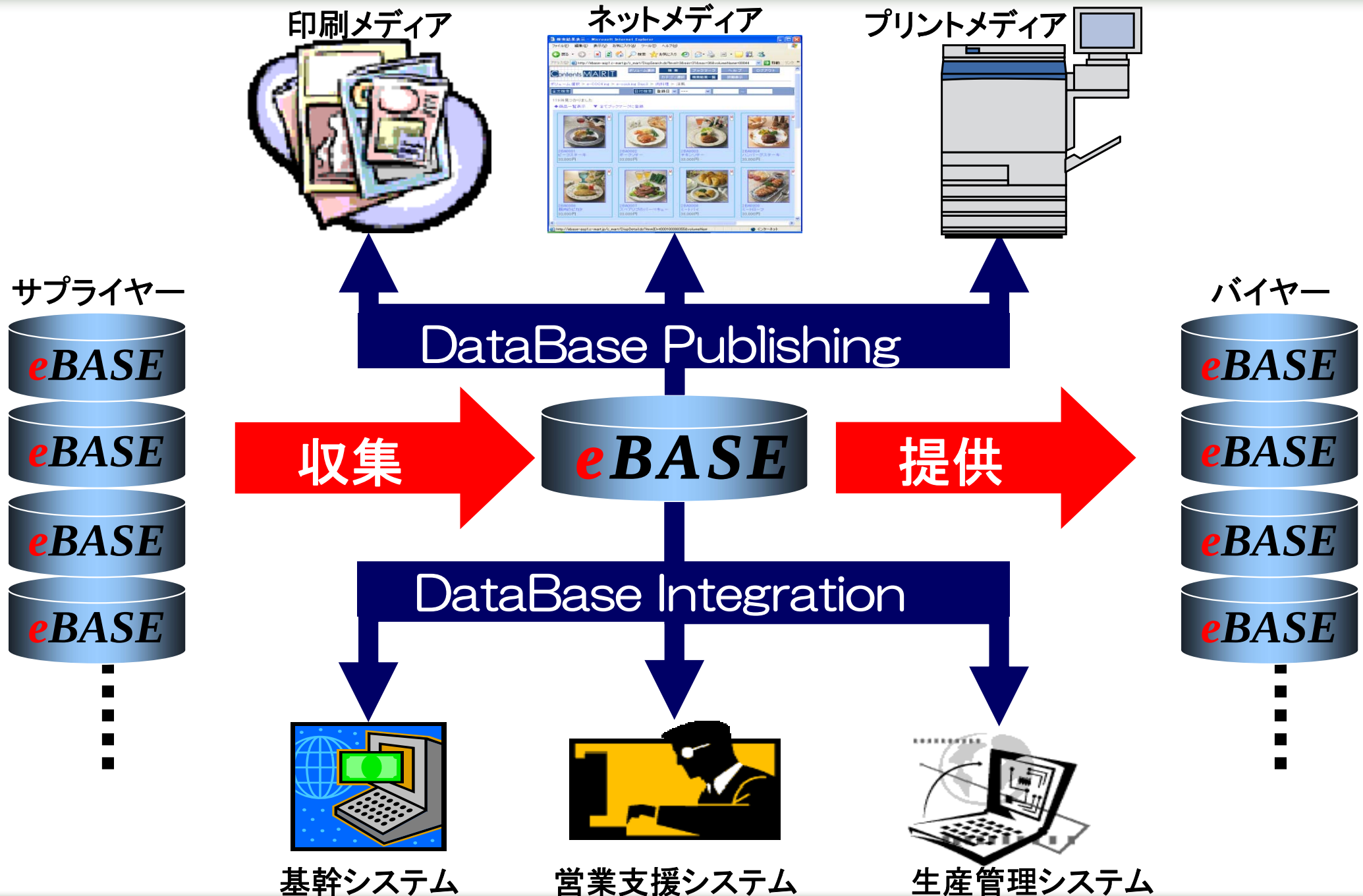
E社

F社

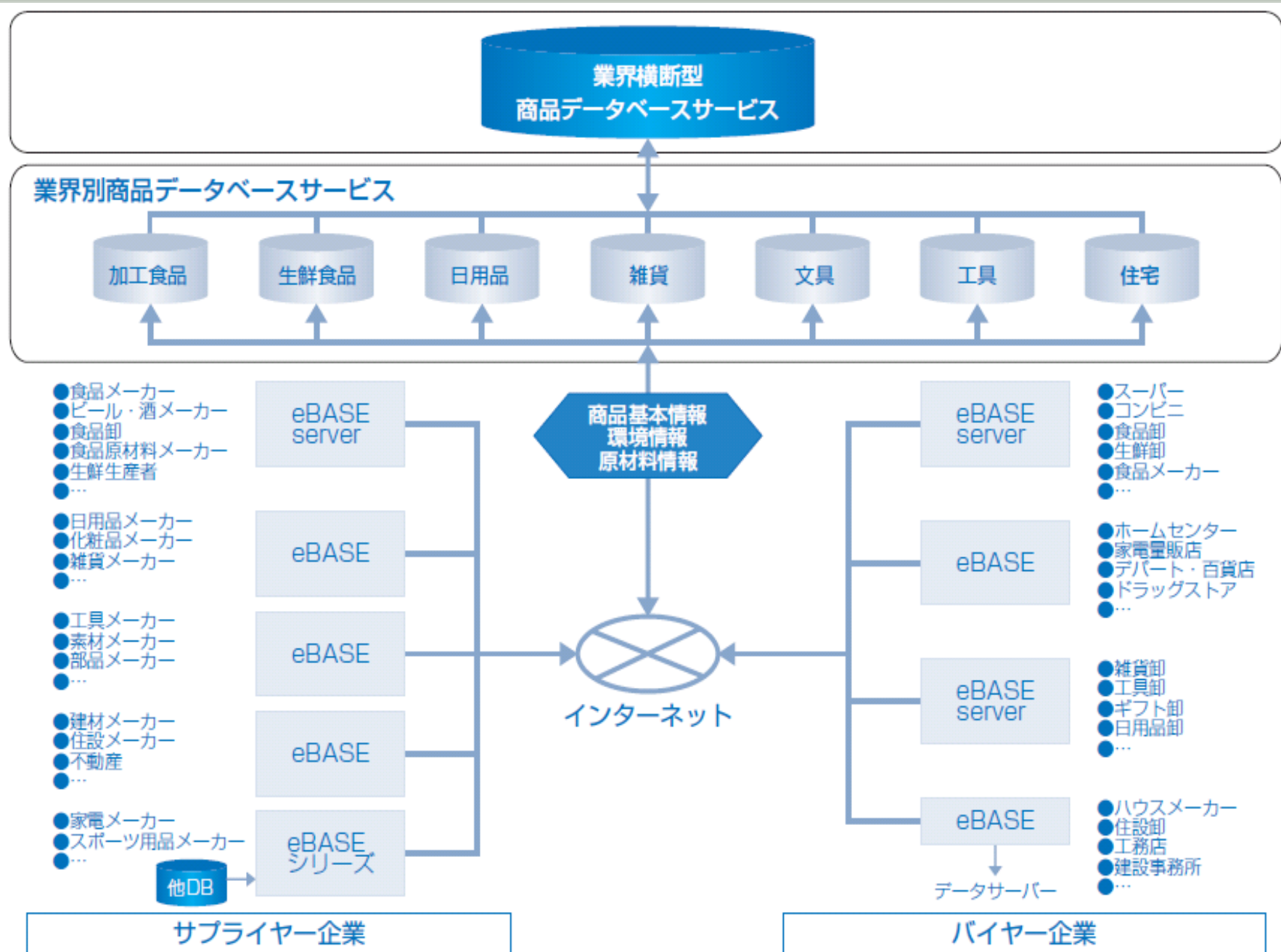
収集課題
未解決

競争力の差

*e*BASEの目指す商品情報管理の全体最適化



eBASEによる商品情報交換概念図



eBASEビジネス全体最適化の食品業界展開

サプライヤー/バイヤー間の商品情報交換環境構築！

業界全体の効率化実現！ 自ずと収益向上！

社会ニーズ

食の安全・安心

小売

生協

イオン

セブン・イレブン

サークルKサンクス、
スリーエフ、フレスタ、
小田急商事、天満屋ストアー、
リテールネット、ダイエー、
関西スーパー、天満屋百貨店、
■食品スーパーボランティアチェーン
CGC Japan、AJS、…
■その他
給食業界、お弁当業界、…

食品卸

食品メーカー

原材料
メーカー

英語版

英語版

中国語版

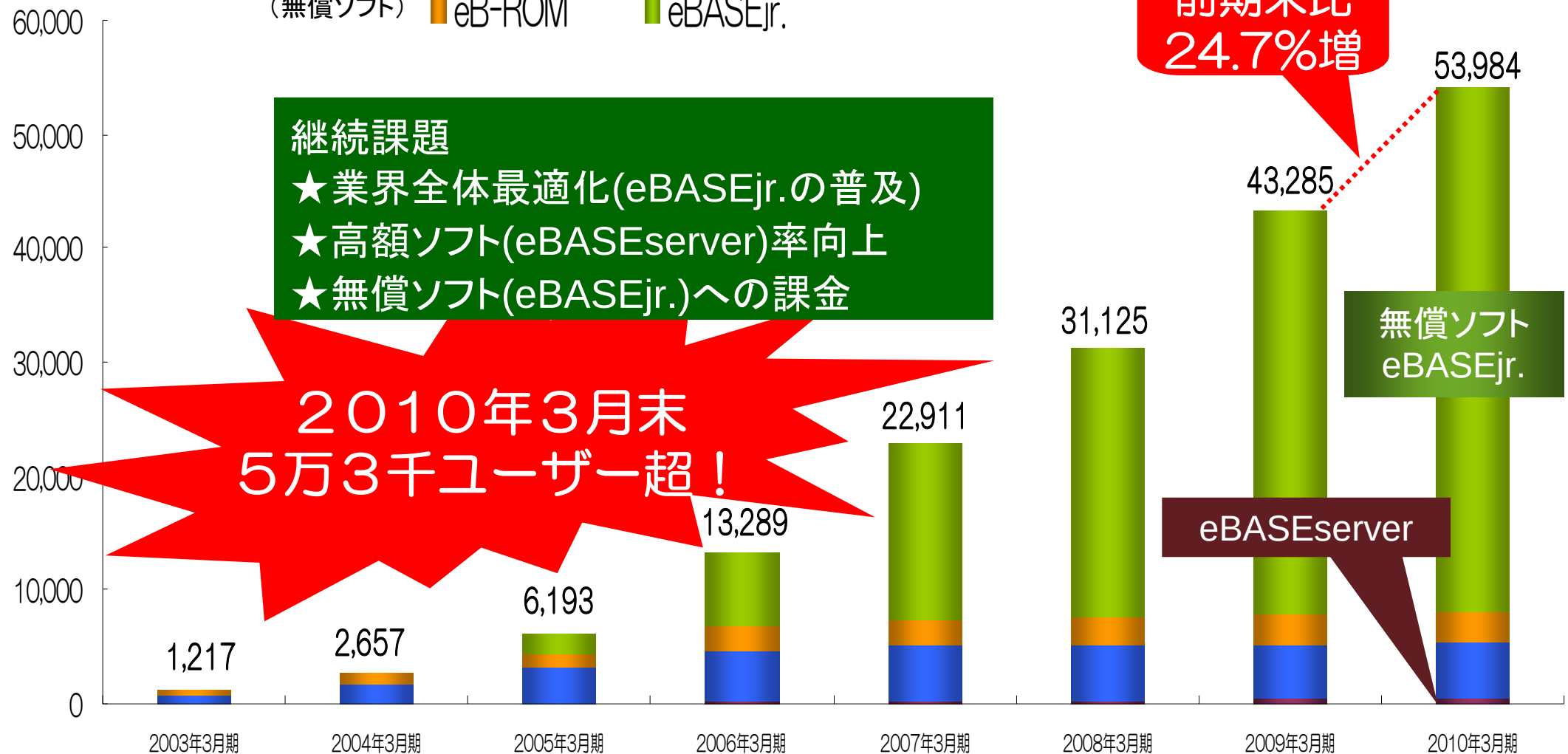
中国語版

製品ユーザー数の推移

商品情報交換の標準プラットフォームとして着実に普及。

総ユーザー数（2010年3月末現在）

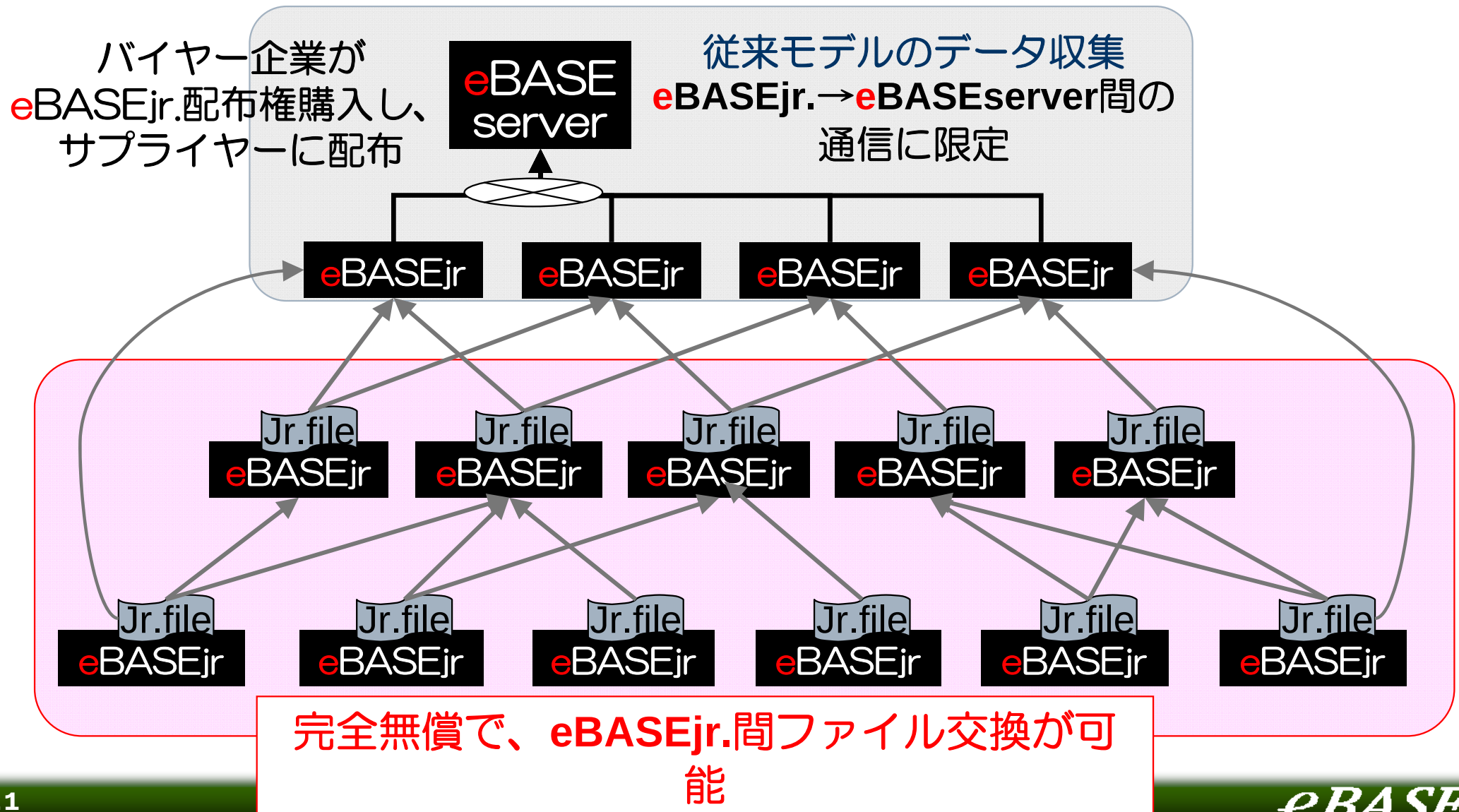
(有償ソフト) ■ eBASEserver ■ eBASE
(無償ソフト) ■ eB-ROM ■ eBASEjr.



無償 *eBASEjr* の普及 → 全体最適化推進

完全無償で、

eBASEjr 間の商品情報交換機能の提供



高額ソフト (eBASEserver) への自発的アップグレード

顧客要件に応じて

高額ソフトへ必然移行

フォールトトレラント
パワーアップ対応

eBASEenterprise
MultiMachine構成

eBASEserver
MultiCPU版

eBASEserver
64bit版

有償版標準ソフト

eBASEserver

Small eBASEserver

eBASEjr.server

eBASEstandard

eB-Pointservice

社会貢献型
無償ソフト

eBASEjr.

社会貢献型
限定機能 低価格ソフト

各種
オプション
他社
連携
ソフト

FOODS eBASEと他社ソフト連携

法令チェックソフト

← FOODS eBASE →

外観CGソフト



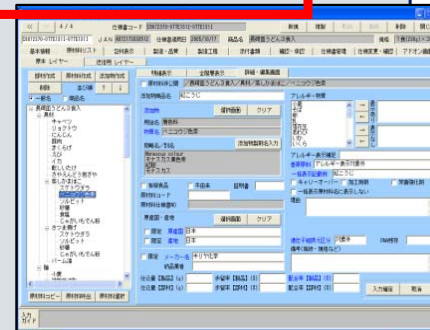
添加物使用基準チェック
残留農薬基準値検索
違反事例、等の検索
最新関連法規、等の提供

品質表示ラベル
自動生成



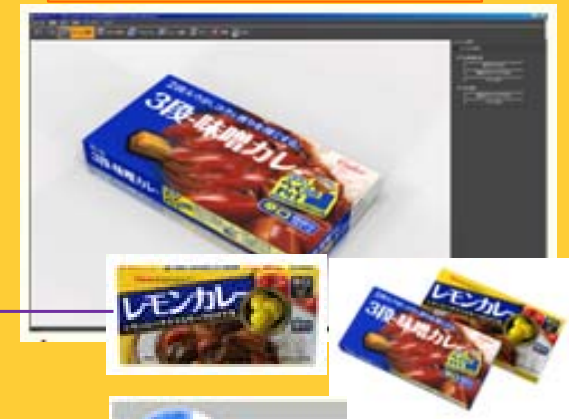
基本情報

原材料リスト



製造・品質
添付書類
包材表示

- ・CGデータ
- ・商品画像
- ・棚割画像
- ・外装画像

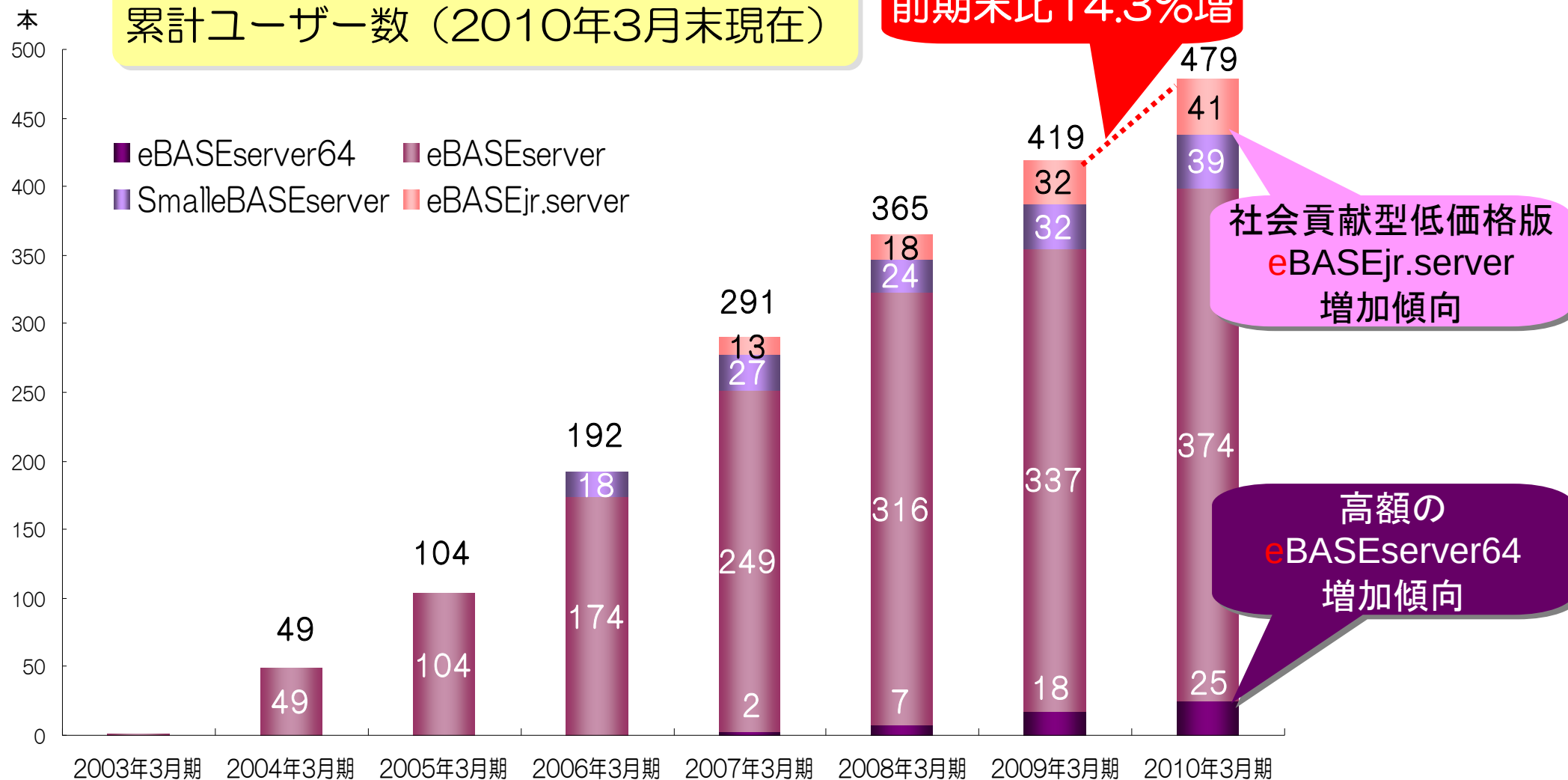


eBASEserverユーザーの推移

無償ソフトeBASEjr.ユーザーによる
最上位eBASEserverへの自発的グレードアップを促進！

累計ユーザー数（2010年3月末現在）

前期末比14.3%増



(注) eBASEserverのリリースは、2003年3月期(第2期)であります。

業界別ユーザー数（2010年3月末現在）

幅広い業界で商品情報交換の標準プラットフォームとして普及。



eBASEビジネス全体最適化の環境市場展開

流通企業へ展開

環境情報収集インフラを

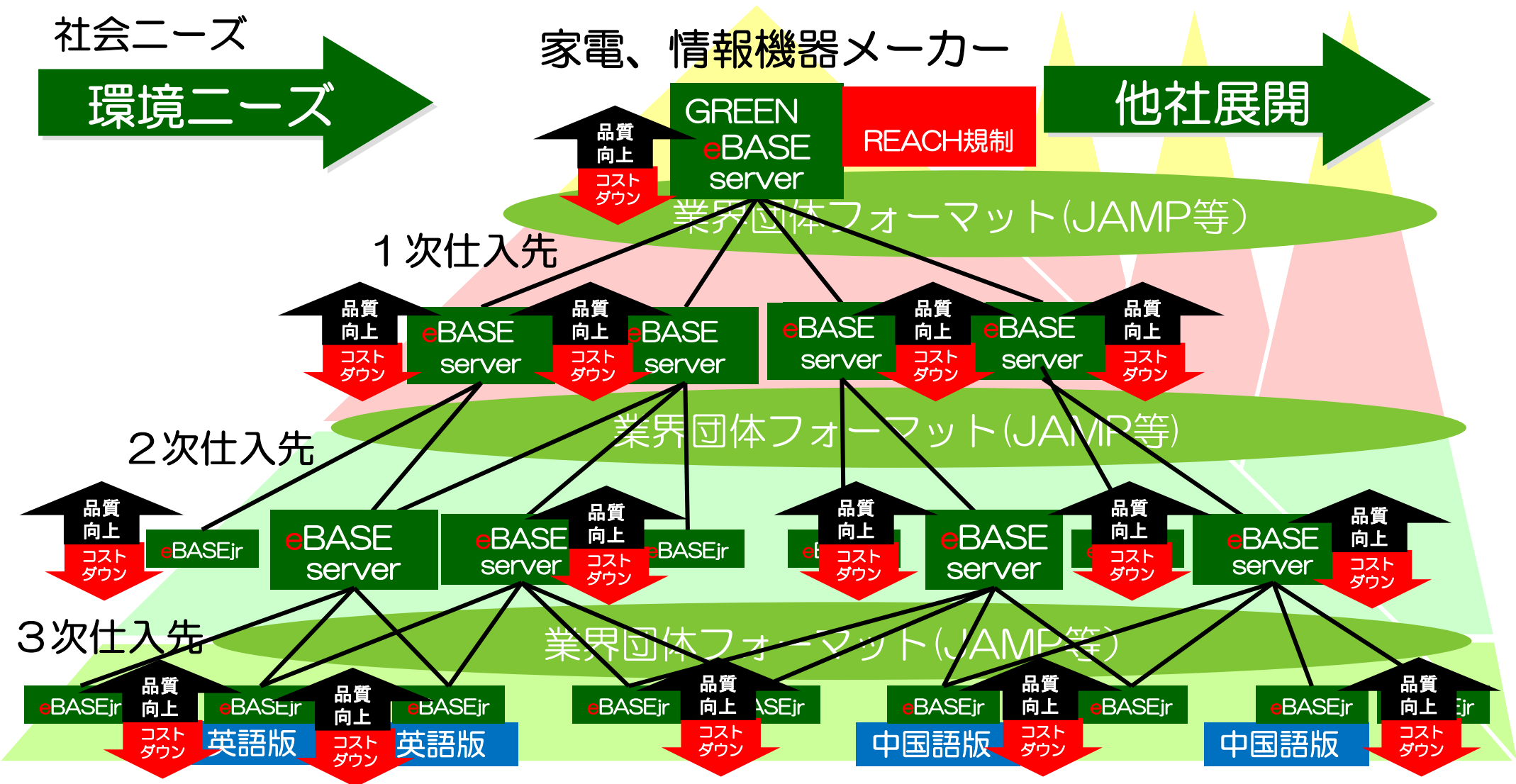
他メーカーへ展開

社会ニーズ

環境ニーズ

家電、情報機器メーカー

他社展開



REACH対応版GREEN eBASEのリリース



(1)MSDSplus ver.3.0
入力支援ツール



※JAMP標準
AIS作成システム認定



(2)AIS ver.3.0
入力支援ツール



※JAMP標準
MSDSplus作成システム認定



(3)AIS ver3.00
複合化・単純化
ツール



(1)JGPSSI ver3.34
入力支援ツール



(2)JGPSSI ver.4.0
入力支援ツール



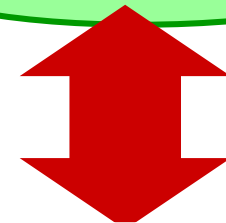
(1)JAMA/JAPIA
統一データシート
ver2.10 ※今後、対応予定

オールインワン！

標準で5種類に対応！

“無償ツール”

GREEN eBASE



取引先との
商品情報交換

2010年度

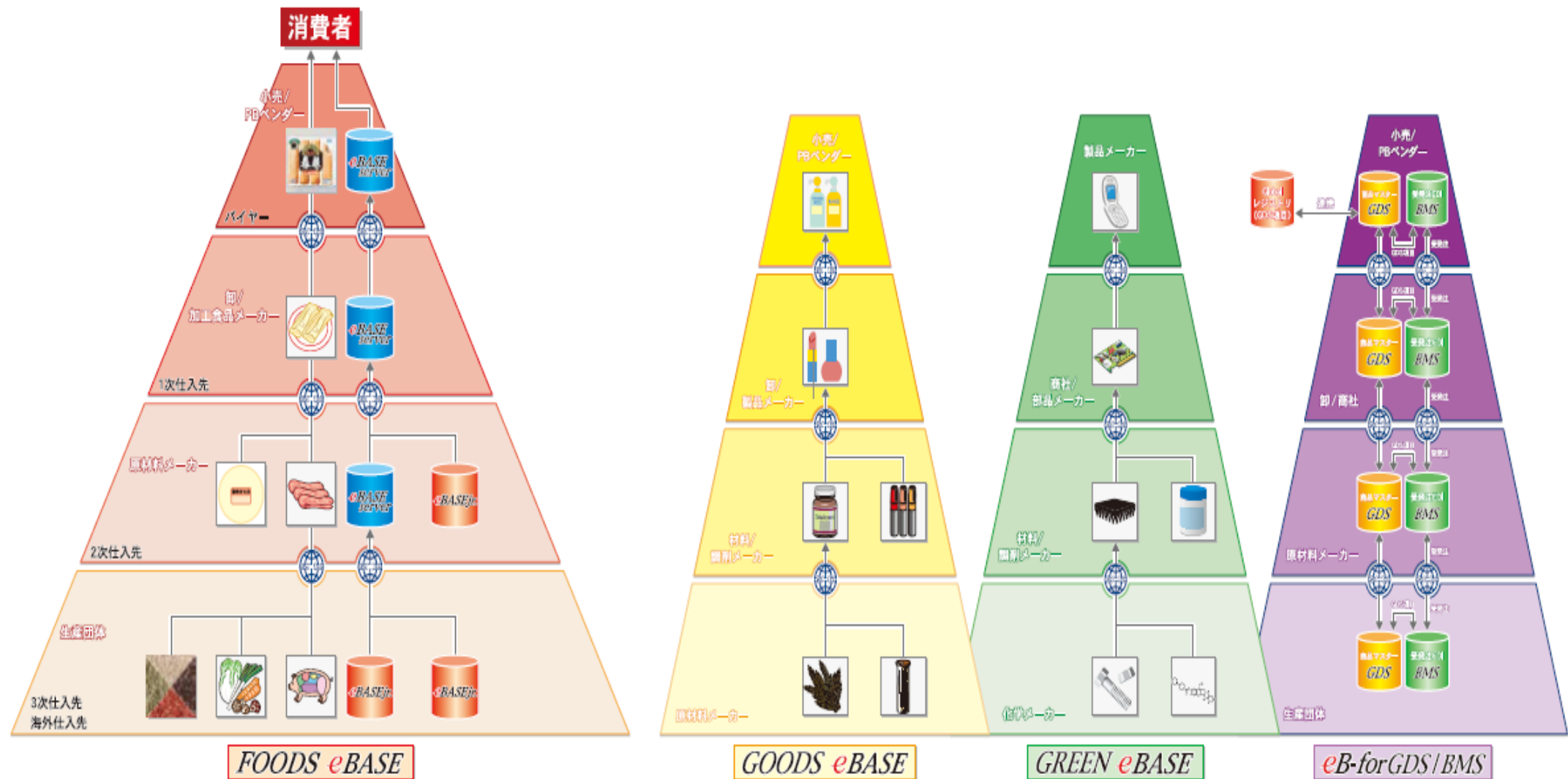
eBASEビジネス展開計画

- 商品情報交換ビジネスの継続推進
- 商品マスタ / 受発注EDIの推進
- クラウドビジネスの着手
- eBASEミドルウェアビジネスの推進
- 企業間商品情報交換サービスの開始

eBASE商品情報交換ビジネスの継続推進

業界別商品情報交換の全体最適化を図りながらeBASEの拡販を継続推進！

- ・ 食品業界：新規ユーザー獲得、既存ユーザーのクロスセル・アップセル
- ・ 日雑業界：特化した業界（工具業界、電材業界、等）で、戦略的展開



基幹系業務支援「商品マスタ/受発注EDI」対応

eBASEコミュニケーションプラットホームの展開
基幹系業務支援「商品マスタ/受発注EDI」のプラットホームとして利用

CGC Japan(2010年/2月)
商品マスターセンタースタート！

受発注EDI
ニーズ

EDI用商品情報
収集ニーズ

GMS

商品マスタ/受発注システム

他社展開

他社展開

eB-forGDS

eB-forBMS

食品卸

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

日雑卸

食品メーカー

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

eB-forGDS

eB-forBMS

eBASE

日雑メーカー

GREEN eBASEの中国展開

https://www2.ebase-jp.com/support/form/eb_green_dl/

GREEN eBASE

中国語版
無償ダウンロード！

The screenshot shows a web form titled 'eBASE-green ダウンロードお申し込みフォーム' (eBASE-green Download Application Form). It contains several sections with bullet points in Chinese, likely detailing the terms of use and the benefits of the software. At the bottom, there are input fields for user information and a 'Submit' button.



Europe



有償版拡販！



大手家電メーカーの
GREEN eBASEデータ収集

EUのRoHS・REACH対応

North America

Atlantic Ocean

South America

Pacific Ocean

eBASEを用いたクラウドビジネスの着手

■ 株式会社インテック **FOODS eBASE**
i-TRe(アイトレ)
「食の安全・安心のトレーサビリティサービス」
<http://www.i-tre.jp/>



「食の安全・安心」の確保

昨今の食品の安全・安心にかかわる問題により、消費者の食品に対する信頼が揺らぎ、生産、加工および流通の履歴を明確にできる食品の供給への要望が高まっています。インテックは食の安全・安心にかかわる企業の課題解決に貢献するサービス「i-TRe(アイトレ)」をご提案いたします。

インフォメーション

- 2010.04.09 「i-TRe(アイトレ)」は「第1回クラウドコンピューティングEXPO」に出展します。
2010/5/12〜14 東京ビッグサイト 東2ホール
- 2010.03.30 “食の安心につながる情報基盤「i-TRe(アイトレ)」の提供開始”を発表しました。
- 2010.01.20 i-TRe(アイトレ) Webサイト開設しました。

2010年4月〜

Copyright © 2010 INTEC, Inc.

■ TIS株式会社 **GREEN eBASE**
ChemiKarte(ケミカルテ)
「製品化学物質管理管理サービス」
<http://info.chemikarte.jp/>



Chemikarte (ケミカルテ) とは

化学物質を取り扱うあらゆる企業で導入可能な、化学物質情報管理SaaSソリューションです。

- さまざまな化学物質情報を一元管理できます。
- サプライヤーからのスムーズな情報収集が可能です。
- SaaSソリューションだから、初期投資、運用コストを削減できます。

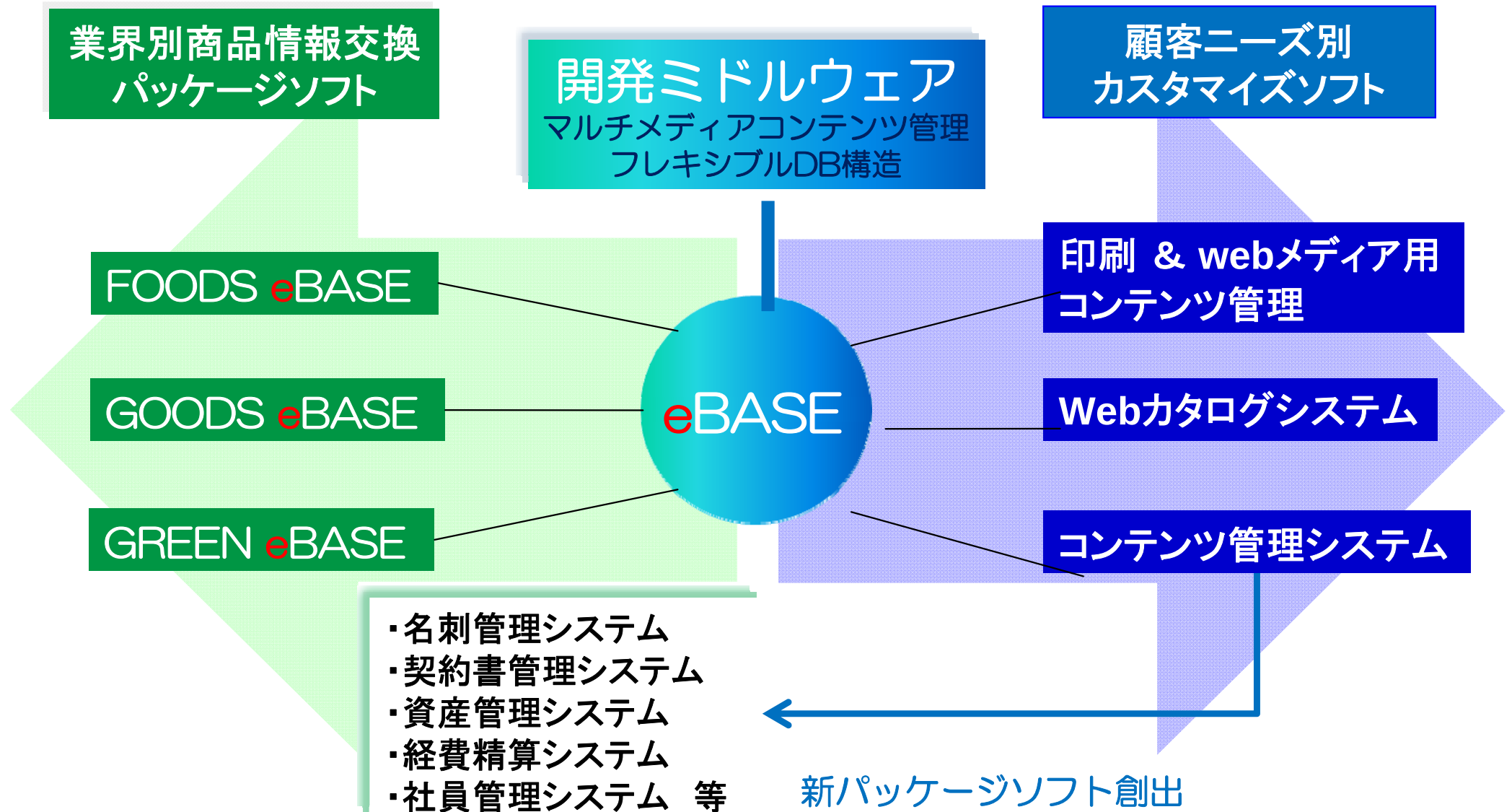
2010年4月〜

Copyright 2010 TIS Inc.

当社からのクラウドサービス提供検討！

eBASEミドルウェアビジネスの推進

業界別パッケージソフトを、容易に開発してきたeBASE開発環境を利用し、顧客別にカスタマイズしたコンテンツマネジメントソフト開発販売！



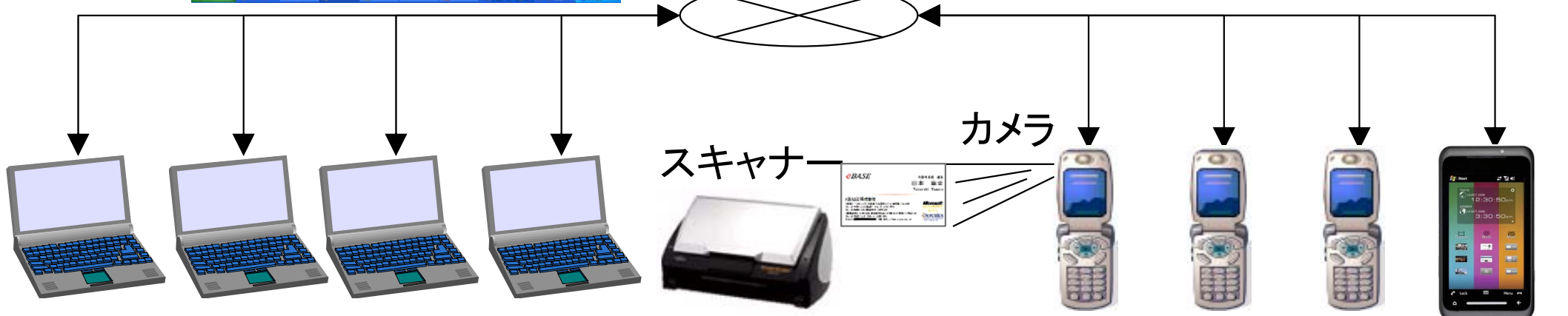
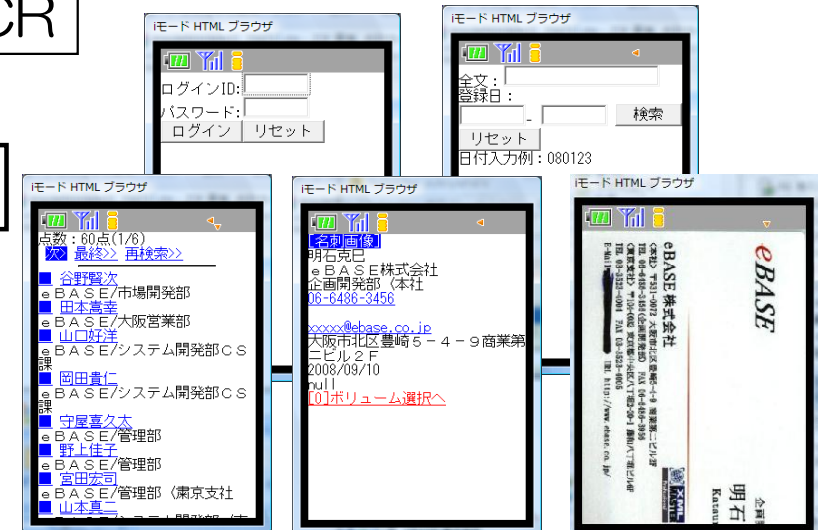
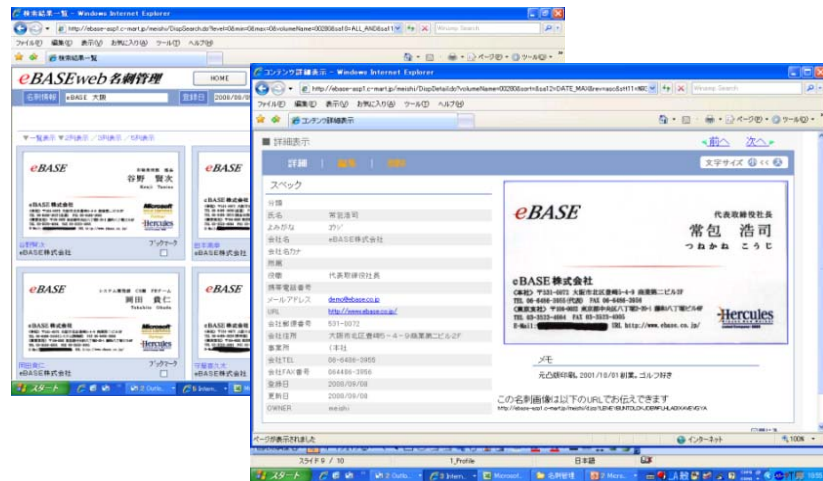
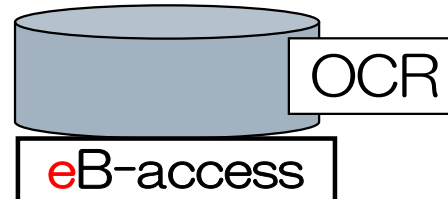
ミドルウェアeBASEの活用例（名刺管理システム）

柔軟に管理項目カスタマイズ

携帯電話からの閲覧・編集

各種ドキュメント管理システムへの展開

eBASEserver



パーソナルコンピュータ



スキャナ

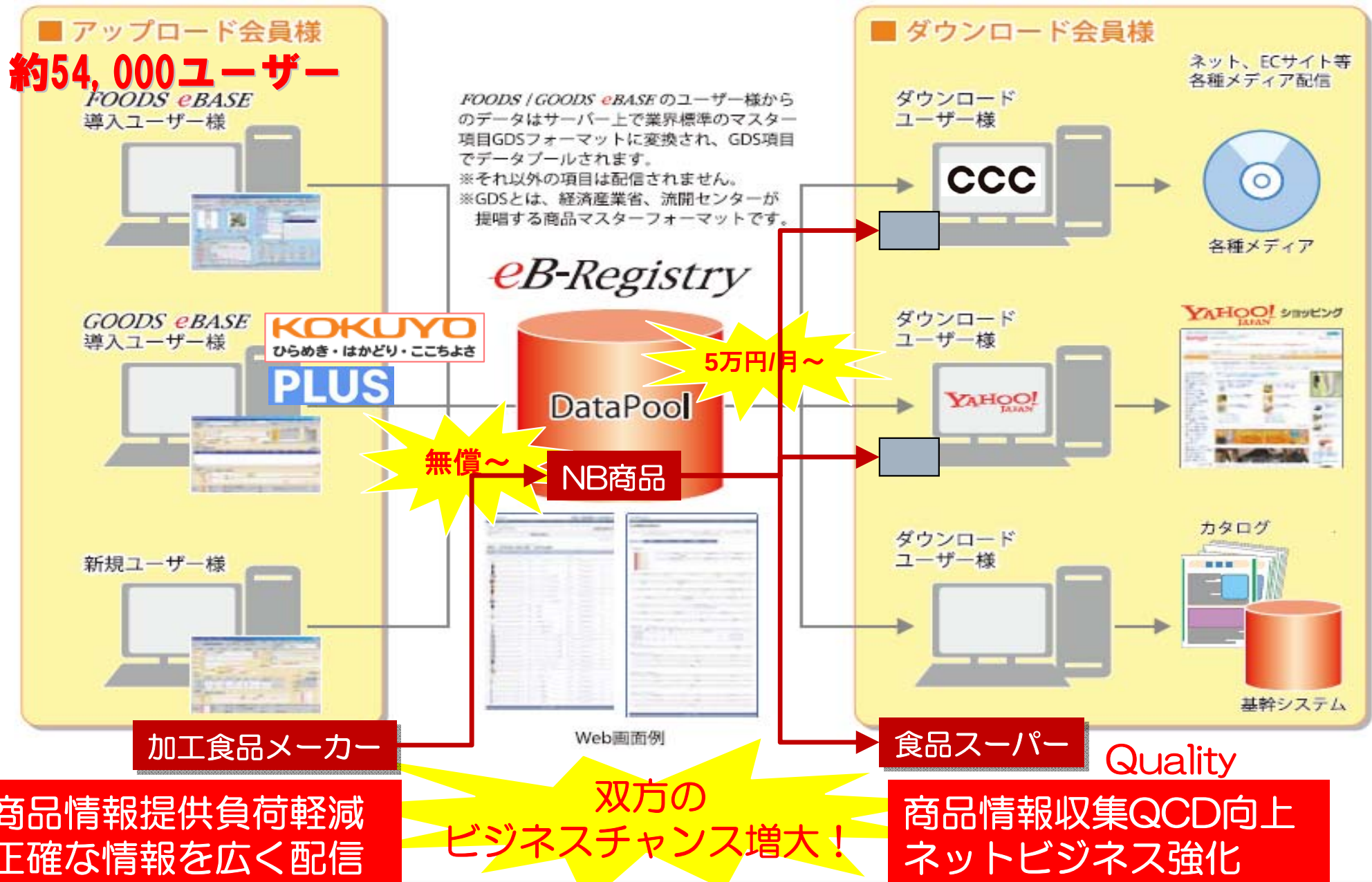
カメラ



携帯電話・スマートフォン

企業間商品情報交換サービス(eB-Registry)開始

多業界/複数メーカー横断型 商品(製品) 情報交換サービス!



売上20億円、経常利益10億円を目指した中期戦略マップ



用語説明

- ASP : Application Service Provider
ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のこと。
- CRM : Customer Relationship Management〔顧客関係管理〕
情報システムを応用して企業が顧客と長期的な関係を築く手法のこと。
- EC : Electronic Commerce〔電子商取引〕
インターネットなどのネットワークを利用して、契約や決済などを行なう取引形態。
- EDI : Electronic Data Interchange〔電子データ交換〕
取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組。
- POP : Point Of Purchase〔購買時点〕
商品情報のポイントと商品価値等の必要情報を顧客にダイレクトにPR(広告)するもの。
- SCM : Supply Chain Management〔供給連鎖管理〕
取引先との間の受発注、資材の調達から在庫管理、製品の配送まで総合管理するコスト低減手法。
- XML : eXtensible Markup Language〔拡張マークアップ言語〕
文書やデータの意味や構造を記述するためのマークアップ言語

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp